



多くの患者さんと家族の方は、肉体的且つ精神的苦痛と不安の中で、大変つらい闘病生活を続けていらっしやいます。私は、「入院中の唯一の楽しみは、図書コーナーから借りた本を読むことよ。」と言った妻が残した言葉に導かれ、図書コーナー「ひだまり文庫」担当のボランティアに採用していただきました。3年前のことです。

「ひだまり文庫」の日常の活動は、患者さんや家族の方の身近に、多種多様な本をお届けし読書のお手伝いをする事です。そのために、病室への移動図書の貸出や外来患者さんの待合エリアへの定置書棚の設置と本の入れ替え、それと7階にある図書コーナーの開放をしています。

「ひだまり文庫」の本は、単行本、文庫本、マンガ本、各種週月刊誌等々多岐にわたっており、図書コーナーの書棚にあふれんばかりに収納されています。貸出冊数と貸出期間に制限はなく、いつでも気軽にご利用いただいております。

特筆すべきは、これらの本の大半が患者さんや家族の方からの寄付であり、他に職員の方やボランティアからの寄付もあります。年間で約3,000冊もの寄付をいただいております。また、利用者数は数えきれないほどです。このように「ひだまり文庫」はまさに**患者さんによる患者さんのための**図書コーナーとして長年定着しています。

ボランティア活動中に時々、患者さんや家族の方から「とても助かってます。有難う。」と感謝の言葉をかけていただいた時は、ささやかな喜びを感じます。読書することで、患者さんのここらつかの間のオアシスが訪れてくれることを切に願っています。

これからも、担当の他のボランティアの人達と一緒に患者さんに愛される「ひだまり文庫」を目指して、頑張っていきたいと思っています。

(図書コーナー担当ボランティア 木村 昌三)



～ 花に想いをのせて・・・ ～

院内を歩いていると、きれいな花!!いい匂いだな～!!と、足を止めていただいたことはありませんか?

実はこの花、毎日私達ボランティアが活けて、水を取りかえています。

緩和ケア病棟には、至る所に花が飾られています。

『院内の皆様にお花を見て、ほっとして頂きたい。』と、花を届けてくださるお花屋さんが居ます。

花の少ない時期もありますので、大変嬉しく、私達も感謝の気持ちで、心を込めて花を活けています。

まさに、緑のエプロンをかけないボランティアです。



ロビーコンサート

平成29年度イベント予定

コーヒータイム・緩和ケアコンサート

- 4月 4/28 タエコ(歌・ギター)&瑞穂(琴)
- 5月 5/26 混声合唱・山元グリーンヒルズ
- 7月 7/18 あいコンサート(歌・ピアノなど)
- 8月 8/4 稲垣達也 樹の音コンサート
- 9月 9/19 黒瀧英一郎・阿部佐登子・阿部知子 (バイオリン&ピアノ)
- 10月 10/27 瓜生満美(オカリナ)
- 11月 11/17 篠笛・山口流
- 12月 仙台高専名取・軽音楽部

- 7/26 児童劇団「スイートピー」
- 8/2 緩和・ロビー「アルビレオ」(歌&ギター)
- 8/23 ハワイアンライブ
- 10/25 「ハレル・ハレル」(歌&ウクレレ)



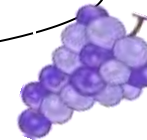
編集後記

昨年度はがんセンターでのボランティア活動16年にあたり、「ボランティアひだまり 活動15年の歩み」を発行しました。そのため機関紙は1回お休みをいただきました。

今年度の30号は、活動紹介として平成13年から行っている抗がん剤治療の患者さんのための帽子作りを中心とした「ソーイング」を掲載いたしました。患者さんの帽子1つ1つが、ボランティアスタッフの手から手に渡り、ていねいに仕上げられていることが分かっていたら幸いです。

これからも、患者さんの心に添った活動をていねいな姿勢で続けていければと、思います。(前田利子)

阿部則子 氏家洋子 斉藤美智子 佐々木サチ 前田利子 松本千鶴子 八巻君枝



「ボランティアさんと共に」

がん相談支援センター

日頃からボランティアさんの温かい活動に患者さんやご家族だけでなく、職員である私たちも多くの支援を頂き感謝しております。

がん相談支援センターは、がんに関する相談窓口です。当センター通院の有無に関わらず、患者さんやご家族のがんの治療や療養生活全般に関しての心配や困りごとについて一緒に考えたり、情報を提供するなど、不安を解消するためのお手伝いをしています。患者さんやご家族は、とても不安で緊張された表情で窓口に立たれます。そんな時、季節感のある花々がカウンターで出迎えてくれますと、患者さんやご家族の表情が穏やかにされます。毎日ボランティアさんが心を込めてお花を交換してくださっているお陰だと感謝しております。

がん相談支援センターの活動として更に、がんサロン『たんぼぼ』の運営や患者会の支援をしています。がんサロン『たんぼぼ』は、がん患者さんやご家族の交流や親睦の場です。不安や孤独を共有したり、同じ立場の人と語り合い励まし合うことで前向きになれるよう学習会、茶話会、折り紙教室などを開催しています。昨年よりボランティア「ひだまり」の方々との共催で約二か月に一回程度『季節感のある折り紙教室』を開催しています。参加者同士が語り合えたことで和やかで温かい時間が過ごせ、どの患者さんからも笑みがこぼれ好評でした。これからも、ボランティアの方々の協力を頂きながら、患者さんやご家族の“癒しの場”になるよう努めていきたいと思っています。



宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」活動実績 報告

病院ボランティア「ひだまり」は、平成12年から活動を開始し、患者さんに安心して治療を受けていただくような活動を行っています。主な活動としては、外来ロビーでの案内や車椅子介助、ソーイング活動として患者さんのための帽子・ネックエプロン作り、植物の手入れや花活け、移動図書などがあります。イベント活動として、ロビーコンサート・コーヒータイム・ギャラリー展などを開催しています。緩和ケア病棟では、ティーサービス・絵手紙教室・アロマ・エステマッサージ・病棟行事手伝いなど多様な活動にも力をいれています。

平成27年度、28年度の活動実績を掲載いたしますので、ごらん下さい。

年間活動日数	年間活動人数	年間活動時間	平成28年度登録者数
243日	2,091人	6,384時間	94名

活動内容	平成27年	平成28年	備考
病棟移動図書 貸出冊数	1,614	1,335	
病棟移動図書 貸出人数	897	764	
7階図書室 貸出冊数	2,683	2,430	
7階図書室 貸出人数	1,576	1,323	
単行本 寄付数	1,201	746	
雑誌 寄付数	2,176	2,183	
帽子 販売数	1,012	1,082	
ネックエプロン 販売数	337	283	のど治療の患者さん用
手作り袋 販売数	406	335	エコバック・きんちゃく袋
本館絵手紙講座 受講者数	20	20	年に10回開催
イベント開催数	19	17	ロビー・コーヒータイムなど
ギャラリー展 開催数	16	17	写真・絵画・絵手紙など
緩和ティーサービス 利用者数	299	491	毎週水曜日開催
緩和絵手紙教室 受講者数	57	58	毎週火曜日開催
緩和アロマ・エステ施術者数	50	60	
緩和季節の行事 手伝い回数	6	6	お花見・夏祭りなど

ソーイング活動紹介 ～帽子ができるまで～



帽子布地購入

かぶりやすく、おしゃれな布地を探すのが苦勞です。



布地裁断

エイッとハサミ入れ



ミシン掛け

ミシンは、お任せ下さい。



細心の注意をはらって縫っています。



しつけ掛け

糸始末やしつけ掛けも大事な作業です。



仕上げ

すそ上げのため、手縫いで千鳥ぐけをしたら完成です。



ていねいに仕上げています。結構時間がかかりますよ。

「この帽子で少しでも楽しく、明るく過ごしていただきたい。」と、願っています。

いかがでしょうか。似合いますか？

出来上がり品



コンサートなどイベント活動紹介



あいさんの優しい声がステキでした

29/7/28 第116回ロビーコンサート「ai☆コンサート」



ジャズピアノに酔いしれました

29/8/4 第117回ロビーコンサート「第5回 稲垣達也～樹の音コンサート～」



いわされいこさんの澄んだ歌声に癒されました

29/8/2 ☆アルビレオ☆ 緩和ケアサマーコンサート



29/8/2 ☆アルビレオ☆ ロビーミニコンサート 緩和ケア病棟と本館ロビー 2箇所で開催しました



15名の子供達が元気に踊ってくれました

29/7/26 コーヒータイムコンサート 児童劇団「スイートピー」



がんセンターが、ハワイになりました





29/8/23 コーヒータイムコンサート「モアナハワイアンズ」&「ティアレ」

